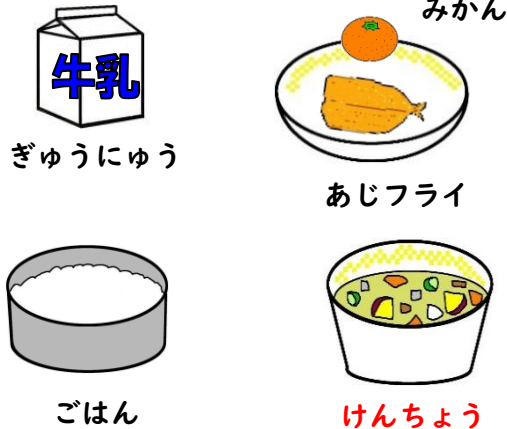


# 12月「関門交流給食」の紹介

ちく 6日 / B地区 3日



しものせきし きたきゅうしゅうし へいせい ねんど まいとし  
 下関市と北九州市は、平成22年度より毎年  
 がっこうきゅうしよく かんもんこうりゅう ひ たが  
 「学校給食・関門交流の日」として、お互いの  
 きょうどりょうり あじ こうりゅう ふか  
 郷土料理を味わい、交流を深めています。  
 きたきゅうしゅうし やまぐちけん きょうどりょうり  
 北九州市では、山口県の郷土料理「けんち  
 よう」を、下関市では、北九州市小倉北区  
 しものせきし きたきゅうしゅうし こくらきたく  
 発祥の「焼うどん」を味わいます。  
 はっしょう やき あじ  
 「学校給食・関門交流の日」を通して、お互  
 ちいき よ つた りょうり し ぶんか  
 いの地域の良さや伝わる料理を知り、文化の  
 りかい きょうど たいせつ こころ はぐく  
 理解と郷土を大切にする心が育まれることを  
 ねが  
 願っています。



【関門トンネル】

やまぐちけんしものせきし きゅうせき れきしてき たてものおお れきし しぜん い かん  
 山口県下関市は、旧跡や歴史的な建物が多く、歴史と自然を生かした観  
 こうち し  
 光地として知られています。源氏と平氏の最後の戦い「壇ノ浦の合戦」や、  
 げんじ へいし さいご たたかい だんのうら かつせん  
 武蔵と小次郎の決闘の地となった「巖流島」、日清講和条約が締結された  
 むさし こじろう けっとう ち がんりゅうじま にっしんこうわじょうやく ていけつ  
 地であるなど、日本の歴史の重要な場面でよく登場してきた土地です。  
 ち にほん れきし じゅうよう ばめん どうじょう とち

## 下関市の紹介

しものせきし ほんしゅう さいせいたん いち じんこう やく  
 下関市は、本州の最西端に位置し、人口は約24  
 まんにん ほんしゅう きゅうしゅう  
 万人です。本州と九州が  
 かんもんきょう かんもん  
 関門橋や関門トンネルでつな  
 がり、関門交流給食や関門  
 かいきょうはなび たいかいなど こうりゅう  
 海峡花火大会等の交流があります。【関門トンネル】  
 やま うみ しぜん ゆた しぜん い のうりん  
 山や海の自然が豊かで、自然を生かした農林  
 すいさんぶつ ほんしん  
 水産物を「やまぐちブランド」として発信しています。  
 また、以下の下関市水産5大ブランドの海の幸が  
 い か しものせきしすいさん だい うみ さち  
 有名です。【下関市水産5大ブランド】



「けんちょう」は、山口県の各地に伝わる郷土  
 りょうり どうふ つか さとう  
 料理で、豆腐とだいこんを使い、しょうゆや砂糖  
 など味付けして煮込んだ家庭料理です。大鍋  
 あじ にこ かていりょうり おおなべ  
 でたくさん作りおきをして、温め直して食べま  
 す。

「けんちょう」という名前は、鎌倉の建長寺か  
 つた せつ ながさき  
 ら伝わったという説と、「長崎けんちえん」という  
 ながさきけん つた とくべつ ひ つく りょうり ゆらい  
 長崎県に伝わる特別な日に作る料理が由来と  
 いう説があります。

給食では、しめ豆腐とだいこん

ほか あぶらあ  
 の他に、油揚げ、さといも、  
 にんじん、こんにやくを  
 つか  
 使っています。



【給食のけんちょう】

ふく	とりあつかいりょうにほんいち こうふく 取り扱い量日本一。幸福とかけて「ふく」と呼ぶ
うに	びんづ はっしょう ち 瓶詰めうに発祥の地
くじら	りゅうつうき しょくぶんか 流通基地としての食文化
いか	こうりょうば いかの好漁場
あんこう	みずあげりょうにほんいち 水揚げ量日本一